

西南小の風

だれかのために じぶんのために いっしょうけんめい



「おはようございます！」（ニッコリ!）
子どもたちの朝の挨拶と、にこやかな表情に一日の元気をもらっています。うつむいて登校している子もいますが、声をかけるとニッコリしてくれて、またまた元気をもらいます。初任以来中学校ばかりでしたので、二十六年ぶりの小学校勤務となり戸惑ったのもつかの間、すでに子どもたちの魅力に惹き付けられております校長 田中 宏和と申します。↘

「第一歩」

須永博士

いまからなんです
そうです
いまからは始めるのです
いまから本気でやりはじめれば
きつといつの日か
やりとげられた日がくると信じます
つらい道かもしれませぬ
ひとりぼっちの道かもしれませぬ
不安な道かもしれませぬ
でもやるんです
いまから
夢にむかって
わたし
第一歩です

（須永博士作品より）
※許可を得て掲載しています。

令和5年度 西合志南小学校 学校経営の方針と教育目標

主体性と協働性を育み、夢の実現に挑戦する児童の育成

子ども
明るく かしこく たくましく



この子を
自分が
守る!
自分が
伸ばす!

いっしょうけんめい

授業を
取組を
願いを
生き方を
妥協しない

われわれ（チーム）で取り組む
職員集団

始業式で大谷翔平になりすまし、夢を持つことの大切さを説いたものの、自分の話が小学生に伝わったかどうか不安になった新任の校長でございます。始業式でも入学式でも今年の合言葉として「セイナンパワー」を打ち出し、児童に「セイナン！」と声をかけ、「パワー！」と返して、子どもたちがうれしくてたまらない無邪気な校長でございます。どうぞよろしくお願いいたします。↙

さて、令和五年度がスタートしました。
「だれかのために、じぶんのために いっしょうけんめい」に、事の大小を問わず取り組む子どもたち、職員集団を目指してまいります。そのための力、その取組によってついた力を「セイナンパワー」と名付けました。
子どもたちは、様々な状況の中でいつも懸命に生きています。彼らを守り、持てる力を引き出し、伸ばすための環境作り、授業作り、機会作りにより妥協なく取り組んでまい

ります。保護者の皆さまも同様のことだと思えます。我が子を育てるのに妥協などあるはずがありません。
これから一年間、紙面中央の須永博士さんの詩『第一歩』にあるように、「つらい道」「ひとりぼっちの道」「不安な道」があるかもしれません。ですが、保護者の皆さまと学校とが手を携えていけば、「やりとげられた日」が来ます。お互いに良いことも悩みも伝え合い、共有していきたいと思っております。一緒にやっていきましょう!